

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 和歌山県
 調査地点: 紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アジスロマイシン	nd	1.5	1.7
[4] アモキシシリン	nd	0.013	0.013
[5] シアナミド	※270	190	280
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名: ピリドスチグミン)	nd	0.043	0.043
[8] (4-[[4-(ジメチルアミノ)フェニル]フェニル]メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)(ジメチル)アンモニウム=クロリド (別名: マラカイトグリーン塩酸塩)	0.96	0.028	0.028
[9] <i>N,N</i> -ジメチルピグアニド塩酸塩 (<i>N,N</i> -ジメチルピグアニドとして) (別名: 塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	38	0.17	0.17
[12] 2-(1,3-チアゾール-4-イル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール (別名: チアベンダゾール)	nd	0.69	0.69
[13] チアムリン	nd	0.0094	0.013
[14] <i>N</i> -ニトロソジエチルアミン	0.054	0.026	0.026
[15] <i>N</i> -ニトロソジメチルアミン	0.27	0.024	0.024
[16] バルプロ酸	nd	1.7	3.1
[19] 3-ベンジリデンカンファー	nd	7.4	23
[20] ベンジル- <i>p</i> -ヒドロキシベンゾエート (別名: ベンジルパラベン)	nd	0.29	0.29
[21-1] モノフルオロ酢酸	nd	0.76	0.76
[21-2] ジフルオロ酢酸	nd	0.32	0.32
[21-3] トリフルオロ酢酸	110	8.2	8.2
[22] レボフロキサシン	nd	0.44	0.44

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)